

茨城県の肝炎対策について

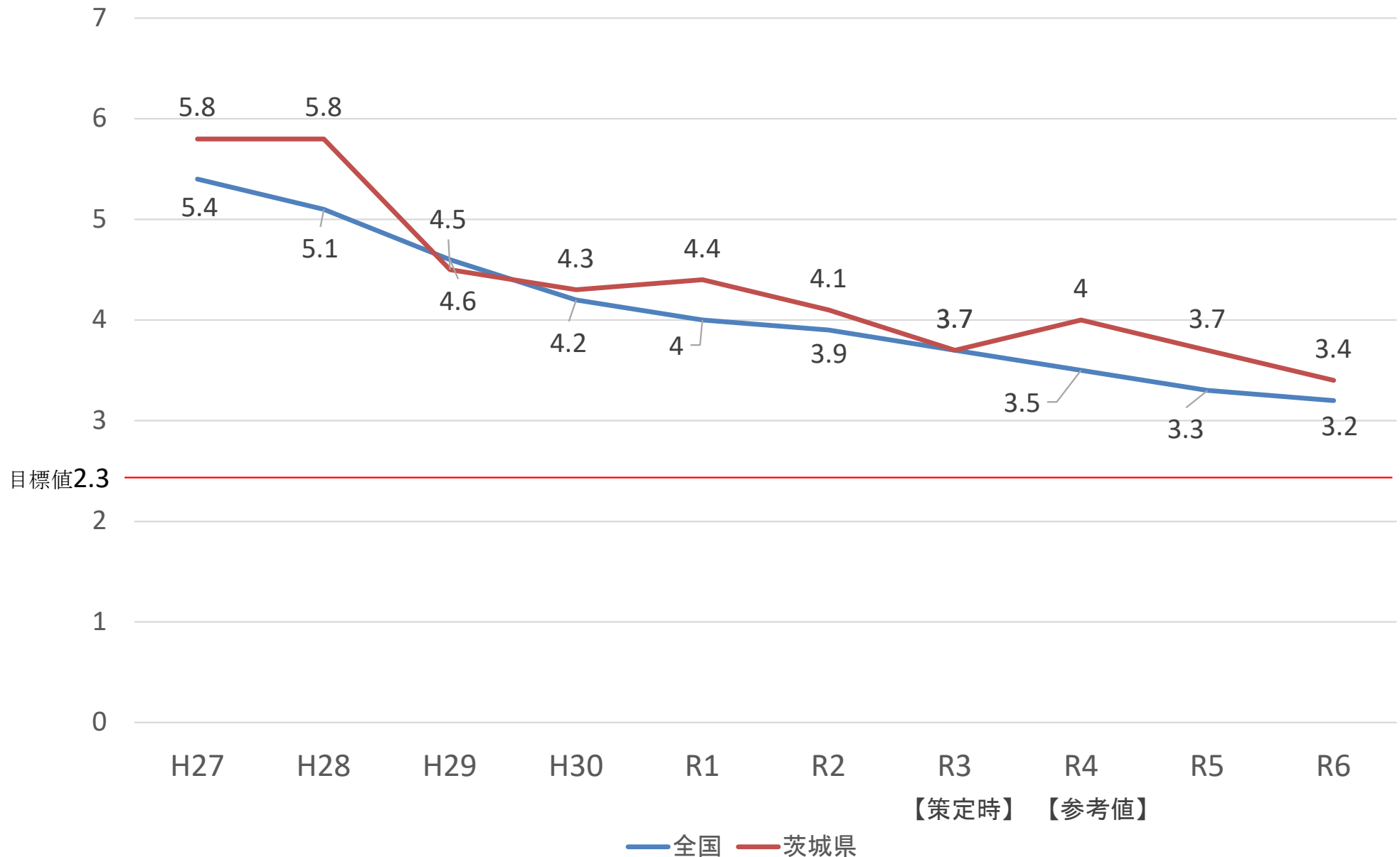
< 説明内容 >

- 1 茨城県の現状
- 2 茨城県の取り組み

茨城県保健医療部疾病対策課
主任 岩上 智美

1 茨城県の現状

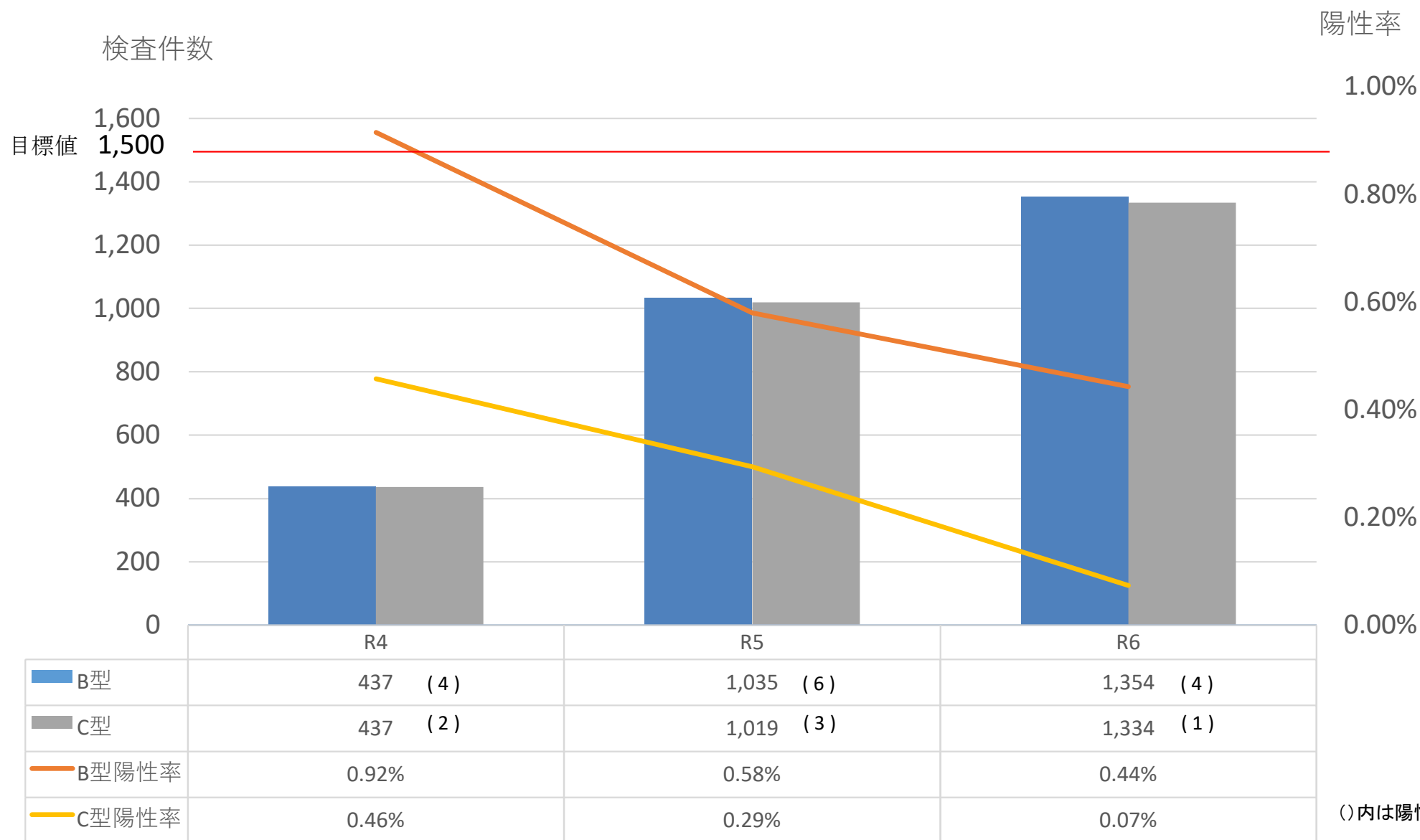
(1) 肝がん75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）



1 茨城県の現状

(2) 特定感染症検査等事業

保健所における検査件数及び陽性率



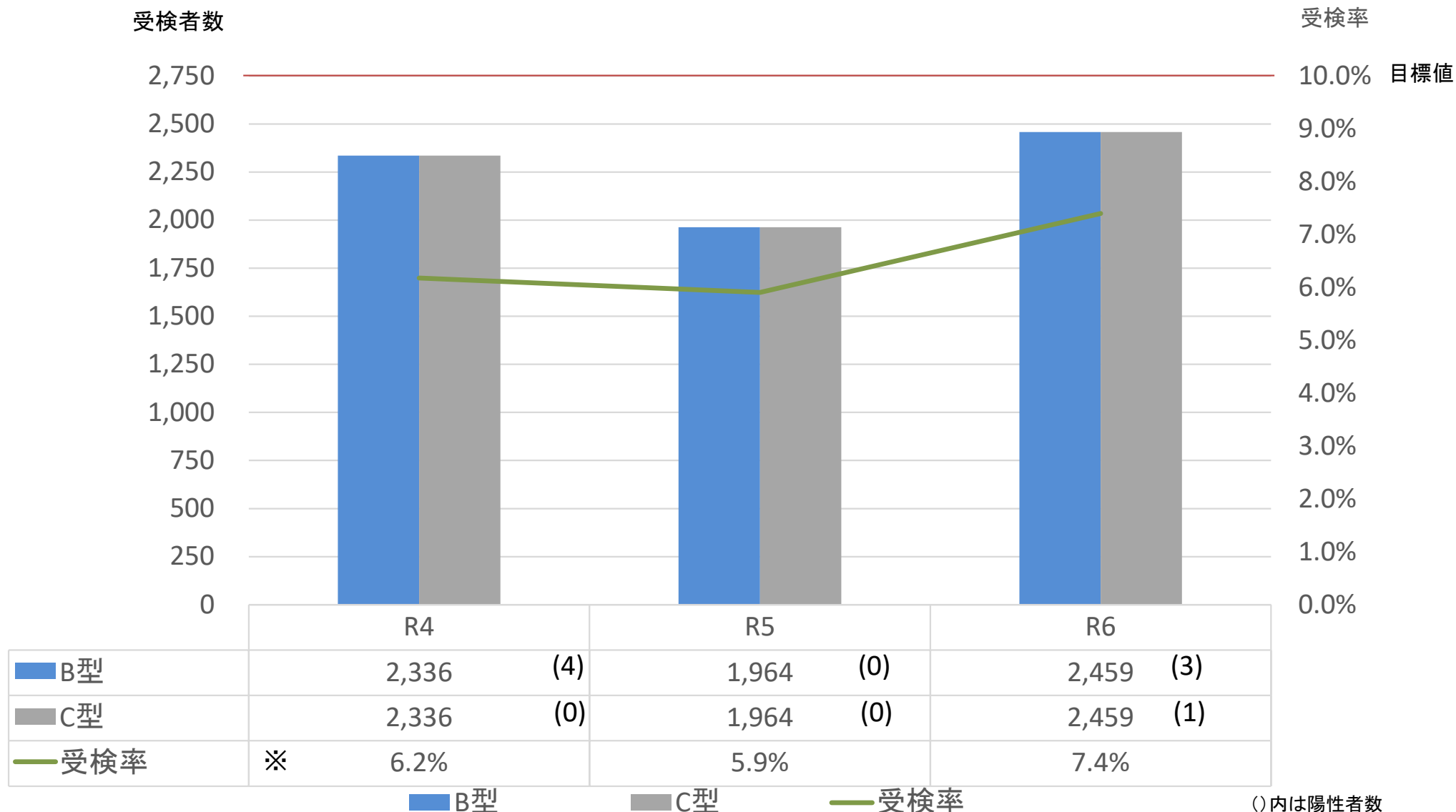
(注) 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ状況調査(茨城県調べ) ※ R6は水戸市保健所実施分を含む

()内は陽性者数

1 茨城県の現状

(3) 健康増進事業

市町村40歳検診受検者数及び受検率



(注) 健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診並びに陽性者フォローアップ状況調査(茨城県調べ)

※受検率は、「地域保健・健康増進事業報告(厚生労働統計)」の対象者数を分母としている。

()内は陽性者数

2 茨城県の取り組み

(1) 第3次茨城県肝炎対策指針の概要について

計画期間
令和6年度～令和11年度

項目	課題	対策
①肝炎の予防のための施策	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年度までのC型肝炎の撲滅がWHOの目標 ・本県の肝炎治療費助成事業の認定者数減少も、撲滅には至っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎の周知・理解促進、肝炎ウイルス検査の受検奨励 ・持続感染者に対して、家族や性パートナーへの肝炎ウイルス検査の受検を推奨 ・持続感染者家族や感染リスクの高い医療従事者等に対するB型肝炎ワクチンの接種勧奨 ・母子感染予防のための肝炎ウイルス検査の受検奨励及びB型肝炎ワクチンの定期接種実施への支援
②肝炎ウイルス検査の実施体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所、市町村でのウイルス検査件数が減少 ・職域での肝炎ウイルス検査の実施状況や検査後対応が把握できていない ・手術前検査の際に実施される肝炎ウイルス検査の結果説明が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所でのB型・C型肝炎ウイルス検査の実施件数の目標を、それぞれ1500件以上/年 ・新規陽性者の医療機関受診率70パーセント以上達成及び40歳以上の肝炎検査受検率向上を市町村に働きかけ ・従業員に対する肝炎ウイルス検査受検勧奨の職域による取組の一層の推進 ・手術前等検査の際に行われる肝炎ウイルス検査の結果説明の実施を医療機関に要請 ・検査陽性者に対する医療機関での受診勧奨実施を検査実施主体に働きかけ ・肝炎ウイルス検査の状況把握と分析の実施及び効果的なウイルス検査受検勧奨方法の検討
③肝炎医療を提供する体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎医療提供体制の推進及び手術前検査結果の告知徹底への理解、周知が必要 ・陽性者の医療機関受診へのフォローアップ体制構築と肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の更なる周知が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・検査陽性者に対する精密検査受診の啓発 ・検査陽性者に対する健康増進事業によるフォローアップ事業の実施を全市町村に要請 ・肝炎に係る助成制度等の周知を強化 ・拠点病院とかかりつけ医等との地域連携や災害に備えた環境整備の取組を支援
④肝炎予防及び肝炎医療に関する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに養成した肝炎医療コーディネーター（1081人(R5.4)）の活動活性化が必要 ・各種講習会周知による職域での肝炎予防対策強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村、地域医療機関、職域分野で活動する肝炎医療コーディネーターの育成推進 ・全ての拠点病院及び肝炎疾患専門医療機関、保健所、市町村への肝炎医療コーディネーターの配置及び人材育成 ・肝炎医療コーディネーターの活動内容の共有及び活動支援
⑤肝炎患者に関する啓発及び肝炎患者等の人権の尊重とその支援	<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎医療コーディネーターの活動支援のための活動媒体の作成が必要 ・肝臓週間での関係機関一体となった効果的な啓発活動の実施が必要 ・将来への不安解消、不当な差別偏見を防ぐための相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎医療コーディネーターの活動状況や啓発資材のニーズを把握し、効果的な啓発資材を作成 ・肝炎についての基本的な理解の醸成及び関係機関と連携した普及・啓発活動の肝臓週間での集中実施 ・肝炎医療コーディネーター、拠点病院及び肝疾患相談センターの県民への周知及び相談体制の充実 ・肝炎患者との意見交換等による不安解消及び要望施策の実現、肝炎に関する正しい知識の全県民への普及

2 茨城県の取り組み

(2) 第3次茨城県肝炎対策指針の数値目標及び評価について

番号	目標項目		【策定時】 R4年度	(参考値) R5年度	R6年度	指針に掲げる 目標値 (R11年度末)	達成状況
1	肝がん75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）		3.69 (R3)	4.00 (R4)	3.66 (R5)	2.3以下	B
2	肝炎ウイルス検査受検機会の拡大						
	保健所（年間件数）	B型肝炎ウイルス検査	437件	1,190件	1,354件	1,500件	B
C型肝炎ウイルス検査		437件	1,174件	1,334件	1,500件	B	
3	市町村	40歳の受検率	6.2%	5.9%	7.4%	10.0%	B
4	肝疾患専門医療機関における肝炎ウイルス検査結果の 文書での告知率		5/27	11/27	14/29	全数	B
			18.5%	40.7%	48.3%		
5	市町村検査における新規陽性者の医療機関受診率		68.1%	70.5%	66.1%	70%	B
6	肝炎医療コーディネーターの配置						
	保健所		88.8%	88.9%	100%	全数	A
		(8/9保健所)	(8/9)	(9/9)	(9/9保健所)		
	市町村肝炎担当部署		88.6%	88.6%	100%	全数	A
(39/44市町村)		(39/44)	(44/44)	(44/44市町村)			

- 1 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）（令和3（2021）年）
- 2、3、5、6 茨城県健康推進課「肝炎ウイルス陽性者フォローアップ状況調査」（令和4（2022）年度）
- 4 茨城県健康推進課「肝炎ウイルス検査結果の告知に関するアンケート」（令和5（2023）年7月）

A:目標達成
 B:目標達成できておらず更なる取り組みが必要
 C:目標達成が困難

2 茨城県の取り組み

(3) 令和7年度の肝炎対策に係る取組状況

重症化予防事業

※茨城県肝炎対策指針項目①②③⑤

- 肝炎ウイルス検査 → 肝炎ウイルス検査勸奨のための普及啓発
- B型及びC型肝炎ウイルスに関する相談体制整備
- 陽性者のフォローアップの効果的な受診勸奨の検討、情報提供
- 初回精密検査及び定期検査費用助成制度のリーフレットやSNSを利用した周知及び助成
- 肝炎患者との意見交換

- ★ 普及啓発（以下、普及啓発と記載）
 - ・ 7月の肝臓週間にあわせ、保健医療部X等を活用した肝炎対策の普及啓発
 - ・ イベント等での肝炎ウイルス検査受検勸奨
- ★ 各種会議等において好事例の情報提供
- ★ 妊婦健康診査陽性者へのフォローアップ実施を再要請

肝疾患診療連携拠点病院事業

※茨城県肝炎対策指針項目①②③④⑤

- 肝疾患相談支援センターの運営
- 勉強会・連絡協議会の開催
- 肝炎医療研修会
- 肝炎医療コーディネーター養成講習会
 - 介護職員等への開催周知
 - 市町村担当者会議等での受講勸奨
- 普及啓発（住民向け講演会、啓発資材作成等）

- ★ 普及啓発
- ★ 健康増進課長等会議等において情報提供
- ★ 肝炎医療コーディネーター養成講習会・ステップアップ講習会の個別勸奨
- ★ 関係機関との連絡会（年3～4回）
- ★ 肝疾患専門医療機関を対象とした肝炎医療コーディネーター意見交換会の開催

肝炎治療特別促進事業

※茨城県肝炎対策指針項目③

- C型肝炎ウイルスの根治を目的として行われるインターフェロンフリー治療及びインターフェロン治療の医療費助成
- B型肝炎ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療及びインターフェロン治療の医療費助成

- ★ 普及啓発
- ★ 市町村検診陽性者へのフォローアップの際に説明を依頼
- ★ 職域向けのリーフレット作成

肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

※茨城県肝炎対策指針項目③

- B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変に係る医療費助成

- ★ 普及啓発
- ★ 医療機関へ再周知

2 茨城県の取り組み

(3) 令和7年度の肝炎対策に係る取組状況

重症化予防事業

- 肝炎ウイルス検査 → 肝炎ウイルス検査勧奨のための普及啓発
- B型及びC型肝炎ウイルスに関する相談体制整備
- 陽性者のフォローアップの効果的な受診勧奨の検討、情報提供
- 初回精密検査及び定期検査費用助成制度のリーフレットやSNSを利用した周知及び助成
- 肝炎患者との意見交換

※茨城県肝炎対策指針項目①②③⑤

- ★ 普及啓発（以下、普及啓発と記載）
 - ・ 7月の肝臓週間にあわせ、保健医療部X等を活用した肝炎対策の普及啓発
 - ・ イベント等での肝炎ウイルス検査受検勧奨
- ★ 各種会議等において好事例の情報提供
- ★ 妊婦健康診査陽性者へのフォローアップ実施を再要請



令和7年度の重点取組として

重症化予防事業の

★ 普及啓発

★ 陽性者のフォローアップ

について、説明します。

2 茨城県の取り組み

★重症化予防事業(普及啓発)について

① 7月の肝臓週間にあわせ、保健医療部X等を活用した肝炎対策の普及啓発

<7月の肝臓週間に合わせて、保健医療部Xで計4回投稿>

- 第1回 肝炎ウイルス検査受診勧奨 (7/7)
- 第2回 治療費助成制度の紹介 (7/14)
- 第3回 初回精密・定期検査費用助成制度の紹介 (7/22)
- 第4回 日本肝炎デーと相談窓口のご案内 (7/28)

いばらきの保健・医療 @Iba_hok... · 7月7日
 \ 一生に一度は肝炎検査を受けましょう / 第1弾!
 7月28日は#日本肝炎デーです。ウイルス性肝炎は、早期発見・早期治療が大切です。県内の保健所では無料で#肝炎ウイルス検査を実施しています。ご予約はお近くの保健所まで
pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/y...
 #世界肝炎デー #肝臓週間



🗨️ 1 🔄 11 ❤️ 26 📊 8,557 📌 0

いばらきの保健・医療 @Iba_ho... · 7月28日
 ✨今日(7月28日)は#日本肝炎デー! ✨
 第4弾!
 7月28日~8月3日は#肝臓週間!
 茨城県肝炎診療連携拠点病院(日立総合病院、東京医科大学茨城医療センター)では相談窓口を設置、#市民公開講座や#肝臓病教室の開催もしています。
 詳しくはこちら
pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/y...



🗨️ 0 🔄 8 ❤️ 18 📊 7,546 📌 0

<県広報紙「ひばり」7月号への掲載>



※県広報紙「ひばり」
 =HPのほか、新聞折込、
 県内市町村や大手スー
 パーなどに配置



7月28日は日本肝炎デー
 (7/28~8/3は肝臓週間)

B型・C型肝炎ウイルスに感染していると、将来肝硬変や肝がんになる可能性が高まります。自覚症状がないこともあるため、肝炎ウイルス検査を受けたことのない方は、検査を受けましょう。簡単な血液検査でわかります。

県内の保健所では、無料で検査を実施しています。希望する方はお近くの保健所までお電話下さい。 ※要事前予約

詳しくはこちら ▶

県 疾病対策課
 ☎029(301)3220

2 茨城県の取り組み

★重症化予防事業(普及啓発)について

② イベント等での肝炎ウイルス検査受検勧奨

まだ受けていないなら一度でいいから

肝炎ウイルス検査を受けましょう!

陰性 だったら…
ひと安心。他の方にも検査を勧めねばリスクの高い行動を取らなければ検査は一生に一度で十分です。

陽性 だったら…
精密検査を受けましょう。放置すると肝硬変や肝がんになることがあります。

詳しくは裏面を見てね!

茨城県・茨城県肝臓病診療連携拠点病院 (日立製作所日立総合病院・東京医科大学茨城医療センター) 令和7年3月発行

○がん検診や健康づくりの普及啓発イベントにあわせた肝炎ウイルス検査受診勧奨チラシの配布

- 5/25 イオンモール土浦 (茨城県フェア)
- 10/11 イオンモール水戸内原 (元気アップ! いばらき健康フェス)
- 11/2 茨城キリスト教大学 学園祭



Q1 ウイルス肝炎ってどんな病気?

いくつかの種類が、肝炎を起こしますが、特に問題となるのは **B型肝炎ウイルス** です。

Q2 どこで検査が受けられるの?

保健所やお住まいの市町村などで検査ができます。

Q3 陽性だった場合は?

県の指定する肝臓病専門医療機関や肝臓病専門医による精密検査をお勧めします。

Q4 精密検査って何をやるの?

血液検査と超音波検査です。

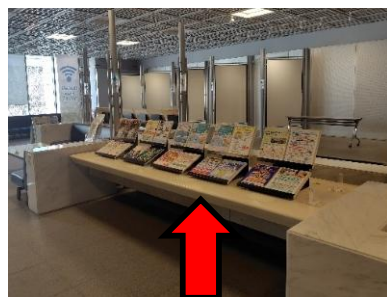
Q5 精密検査の費用が心配…

検査や治療費の助成制度があります。

茨城県立中央病院 肝臓病センター
TEL 029-887-1223

○茨城県庁2階県政広報コーナー(常設)における普及啓発

- ★茨城県庁2階県政広報コーナーに肝炎ウイルス検査受検勧奨資材を設置
- ★令和7年9月29日(月)～令和7年10月9日(木)
茨城県がん検診推進強化月間にあわせて肝炎ウイルス検査受検勧奨資材の掲示・配布
- ★令和7年11月25日(火)～令和7年12月4日(木)
世界エイズデーキャンペーンにあわせて肝炎ウイルス検査受検勧奨資材の掲示・配布



2 茨城県の取り組み

★重症化予防事業（陽性者のフォローアップ）について

③肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業 ※平成27年度～

【保健所・市町村別実施状況】

県内全44市町村でフォローアップ事業を実施

●保健所検査（特定感染症検査等事業）

	R4	R5	R6
陽性者(※)	6	9	7
実施人数	2	4	1
実施率	25.0%	44.4%	14.3%

●市町村検査（健康増進事業）

	R4	R5	R6
陽性者(※)	86	69	76
実施人数	51	45	41
実施率	59.3%	65.2%	53.9%

【未実施者の内訳】

(※) 新規陽性者及び認識受検者（既に医療機関受診済の者等）、市町村検査は40歳以上の年齢も含む

●保健所検査（※匿名検査）

理 由	R4	R5	R6
・確認を行うことの同意が取れなかった	2	1	2
・本人と連絡が取れなかった	1	3	2
・既に医療機関を受診済みであった	1	1	1
・その他(転出等)			1

●市町村検査

理 由	R4	R5	R6
・確認を行うことの同意が取れなかった	5	3	6
・本人と連絡が取れなかった	13	10	13
・既に医療機関を受診済みであった	14	8	14
・その他(転出、受診意思なし等)	3	3	2

○担当者会議等あらゆる機会を活用し、全陽性者に対するフォローアップ体制強化を再周知

・検査前事前同意取得等、他自治体の好取組事例の紹介

・陽性者フォローアップ時に活用できる各種制度案内のリーフレット等を共有

(注) 保健所については、肝炎ウイルス陽性者フォローアップ状況調査(茨城県調べ)

(注) 市町村については、健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診並びに陽性者フォローアップ状況調査(茨城県調べ)

2 茨城県の取り組み

★重症化予防事業（陽性者のフォローアップ）について

④陽性者に対するフォローアップ（妊産婦） ※令和4年度～

●妊婦健康診査のウイルス性肝炎検査フォローアップ実施状況について

	国	茨城県
令和2年4月	初回精密検査費用助成制度の対象に妊婦健康診査での陽性者が追加された。	全市町村で妊産婦医療福祉制度を実施しており、医療費負担が少ないため見送る。
令和3年度		妊婦健康診査の状況確認(県内全44市町村) ➡検査結果の確認をしていない市町村があることを確認。 全市町村で検査結果の確認を実施することを目標に設定。
令和4年8月		初回精密検査費用助成制度の対象に妊婦健康診査での陽性者を追加
令和4年10月		市町村(母子保健・成人保健担当者)向け説明会を開催
令和7年度		妊婦に対する健康診査での肝炎ウイルス検診並びに陽性者受診状況調査(R6年度実績)

【R3年度調査】※調査対象：県内全44市町村

	有	無
検査結果の確認	39	5
陽性者の受診確認	22	22

【R7年度調査】

	有	無
検査結果の確認	44	0
陽性者の受診確認※	36	6

※ 2市は過去陽性者がいないため対応未定

県内全市町村において「検査結果の確認」が実現したので、
 今後は、全市町村で『陽性』となった者への受診確認の実現を目指していく

(注)R3年度調査については、妊婦健診における肝炎ウイルス検査陽性者への受診確認・受診勧奨状況調査(茨城県調べ)。

(注)R7年度調査については、妊婦に対する健康診査での肝炎ウイルス検診並びに陽性者受診状況調査(R6年度実績)(茨城県調べ)。

2 茨城県の取り組み

★重症化予防事業（陽性者のフォローアップ）について

④陽性者に対するフォローアップ（妊産婦） ※令和4年度～

【R6年度実施状況】

●妊婦健康診査（肝炎ウイルス検査）の実施状況

	対象者数	実施人数	検査実施率	陽性者数	陽性率
B型	14,818	14,426	97.4%	20	0.14%
C型	14,818	14,425	97.3%	29	0.20%

●陽性者への受診確認の実施状況

陽性者数	実施人数	実施率
49	20	40.8%

●受診確認未実施者の内訳

理由	件数
・本人と連絡が取れなかった	5
・既に医療機関を受診済みであった	5
・外国の方で里帰り出産のため連絡が取れない	4
・その他（確認中1名、今年度実施予定4名、転居1名）	6
・実施していない市町村	9

【見えてきた課題】

- (i) 県内に一定数在住している外国人に重点化した受診勧奨が有効。
- (ii) 治療完遂までの継続的なフォローが行き届いていなかったり、陽性者への受診確認自体を実施していない市町村があるため、市町村へのアプローチが重要。

(注)妊婦に対する健康診査での肝炎ウイルス検診並びに陽性者受診状況調査（茨城県調べ）

2 茨城県の取り組み

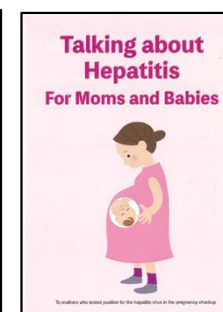
★重症化予防事業（陽性者のフォローアップ）について

④陽性者に対するフォローアップ(妊産婦) ※令和4年度～

①外国人に対する受診勧奨

・パンフレット「肝炎のおはなし ママと赤ちゃんのために」の多言語バージョンを作成 (R4:英語、R5:中国語・ポルトガル語)

今年度内に、他の言語バージョンを作成予定



②受診確認未実施市町村へのアプローチ

【R7年度調査】

	有	無	備考
検査結果の確認	44	0	県内全44市町村で検査結果の確認ができています
陽性者の受診確認※	36	6	※2市は過去陽性者がいないため対応未定

【実施していない理由(聞き取り)】

- ・産科医療機関にパンフレット等をしており、受診勧奨は、当然行えていると考えている。
- ・ウイルス性肝炎は他のハイリスク群(精神的ハイリスクや妊娠高血圧症候群等)に比べ、介入の優先度が低い。
- ・市町村に健診結果が届くまで時間がかかるなどの実態がある。(健診年度内に確認が実施できない)

- ・陽性者の受診確認の優先度を高めていくため、会議の場などを活用し市町村への説明機会を拡充。
- ・妊婦健康診査(母子保健)制度の中で一体的に肝炎対策を進めることが有効であるため、母子保健主管課と連携した効果的な受診勧奨方法を検討。

県内全市町村での『陽性者の受診確認の実施』を実現し、肝がん死亡率の低減を目指す